

全国学校ギター合奏コンクール2018 審査講評

12.神奈川県立上溝南高等学校ギターアンサンブル部

課題曲 星月夜1”The starry night 1”

自由曲 弦楽のための三楽章トリプティークより第1楽章／芥川也寸志(小林徹編)

審査員名	課題曲	自由曲
有馬	マナー○アナリーゼ○技術△音色△指揮△ 迷いの多かったことと思いますがよくひとつにまとまりましたね。皆さんの思いがひとつの方向を見出したのかと思います。ともかく上溝高は毎年良い成績を上げていますが人は入れ替わり立ち代わりでしょうね。その都度新人が挑戦するわけですが技術的にはいまいちでも思いがひとつということは大変なことです。	マナー○アナリーゼ○技術○音色○指揮○ 技術的にも難しい曲によく挑戦されました。ソロも見事。よく練習しました。緊張感の高い、そして難易度も高い曲ですが、こまかい動きもとてもよく揃っています。単音でユニゾンのところがあるのはなかなか表現のしにくいところですが裏の刻みが支えてくれてとても全体的にパワーを感じさせる演奏でした。みごとです！！
小胎	マナー○技術○音色○ ダイナミックレンジの幅良い。音色良い。	マナー○技術○音色○ 良く弾いている。ダイナミックの幅良い。バランス良い。
小林	アナリーゼ○技術○音色○ アルトのかけあい美しく音がはっきりしてとても良い。おしいのは低音がやや不足していること。	技術○音色○ 少し体の動きがみられて力強いfの表現も少し出来てきているのもっとハッキリと深い呼吸でしっかり表現するとさらに良くなる。
富田	アナリーゼ○ 高音部に気を向けないのがおしい。	マナー×アナリーゼ△ (ギターロン待ち)リズムにみだれ時々あり。バランスがちよつと。高音がみだれ。
竹内	Gdurにフレーズ終わりとしての「満感の」ニュアンスがほしい。Harmのアルペジオになるべく「騒音」が伴わないように。全体にフレーズの繊細な切れ目を感じて。最後は良かった！	それほど力まなくても、美しいfは出せるのではないかな。練習時から自分たちの(アンサンブルとしての)音を聴くようにしよう。より分析して、今弾いている音が全体の中でどういう役割をしているか、一人一人考えよう。
長尾	クレッシェンドの表現を変化つけるといい。同じ表情に聴こえます。大人数故のバランスのひずみがあるのかもしれない。	曲調をよく考えたブリがあつて楽しい。ダイナミクスも多彩だ。課題曲より各パートのまとまりがいい。技巧的にも見せ場を作っている。アルトギター体のゆらぎが見えてOK。指揮は曲調に合っている。エンディング決まった。
新堀	マナー○アナリーゼ○技術○音色○指揮○ 安定した指揮。アゴーギグ自然で○。ギターロンが不足しているように思えるのと、向きは考えましょう。	マナー○アナリーゼ○技術◎音色△指揮○ 奏者のリズム感表現固い。もっと指揮は大胆で良いと思います。奏者はよく表現しています。曲がワンパターンの傾向ではないでしょうか。
猿谷	抑揚を抑え、上品にまとまった演奏。	アレンジが素晴らしい。ショスタコ風で好感。

【問い合わせ先】

全国学校ギター合奏コンクール2018開催事務局(現代ギター社内)
Mail : jsgec@jsgec.net